

平成28年度県産農林水産物等の輸出実績について

平成28年度の県産農林水産物等の輸出実績について、別添のとおりとりましたので、ご報告します。

当実績は、本県施策の重要な指標のひとつとして、毎年度調査しているものです。

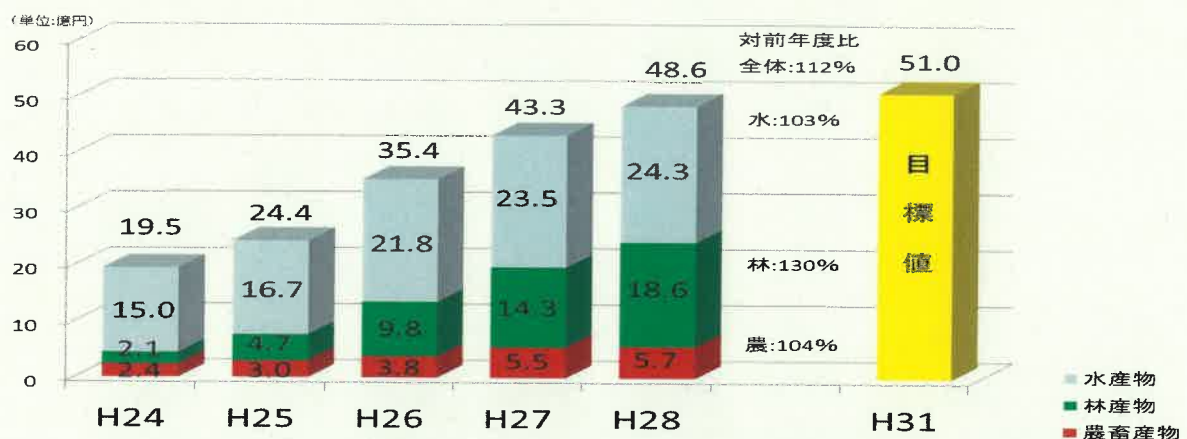
○平成28年度県産農林水産物等の輸出実績の概要

- ・ 本県産農林水産物等の輸出額は48億6千万円。(対前年度比112%)
- ※ 輸出目標額：平成31年度までに51億円を目指す。
- ・ 部門ごとの輸出実績は次のとおり。

	平成28年度輸出実績	(参考) 平成27・26年度輸出実績	
	輸出金額 (対前年度比)	平成27年度	平成26年度
農畜産物	5億7千万円 (104%)	5億5千万円	3億8千万円
林産物	18億6千万円 (130%)	14億3千万円	9億8千万円
水産物	24億3千万円 (103%)	23億5千万円	21億8千万円
合計	48億6千万円 (112%)	43億3千万円	35億4千万円

流通アグリビジネス課・林業振興課・水産振興課調べ
(県が輸出を把握している団体・業者への調査)

平成28年度県産農林水産物等の輸出実績 (県調べ)



お問い合わせ先

流通アグリビジネス課

木上・水上 <内線：5396 (直：096-333-2395) >

林業振興課

山下・野田 <内線：5640 (直：096-333-2446) >

水産振興課

堀田・宮本 <内線：5677 (直：096-333-2457) >

各部門の概要

① 農畜産物

〈概要〉

- 熊本地震により輸出への影響が懸念されたものの、アジアや北米向けを中心に、主力品目の牛肉やいちごが順調に増加。
- 既存国・地域へのさらなる輸出拡大と、新規国・地域の市場開拓を図るため、バイヤー招へいや現地での販売プロモーションなど、商談機会の創出に取り組んだ。



香港でのプロモーション

【平成28年度 農畜産物等の品目別・国別輸出状況】

(単位:千円)

	米	かんしょ	トマト	いちご	温州みかん	梨	牛肉	その他	合計	対前年度比
香港	4,366	12,235	7,905	57,258	340	31	165,696	66,668	314,499	100%
アメリカ	1,613	0	0	0	0	0	124,100	1,524	127,237	165%
シンガポール	7,691	8,758	82	447	307	114	18,173	16,855	52,427	57%
カナダ	0	0	0	0	16,483	0	8,800	648	25,931	69%
台湾	1,641	1,356	0	0	0	6,689	0	12,809	22,495	223%
その他	505	331	19	13	70	0	13,070	14,190	28,198	73%
合計	15,816	22,680	8,006	57,718	17,200	6,834	329,839	112,694	570,787	104%
対前年度比	24%	98%	71%	143%	45%	211%	118%	130%		

〈品目別の輸出状況〉

- 輸出の約6割を占める牛肉は、香港やアメリカ向けを中心に順調に増加。新たにシンガポールやカナダへ輸出を開始。
- いちごは、新品种「ゆうべに」が加わったことから順調に増加。
- 米や温州みかん等は、国内需要の高まりから輸出は減少。

② 林産物

〈概要〉

- 国別輸出額は、中国、韓国、ベトナム、アメリカ、台湾向けの順。韓国におけるヒノキの需要拡大とアメリカ向け製材品輸出開始などにより輸出货量・輸出額ともに大幅に増加した。
- 東アジアを中心に加工・流通状況の調査、住宅総合展示会出展、製材品のテスト輸出、海外バイヤーとの商談等を実施し、新規国への販路開拓に取り組んだ。

【平成28年度 県内港からの木材輸出実績(国別・品目別)】

輸出国名	丸太		製材品		合計		対前年度比 (金額)
	材積(m3)	金額(千円)	材積(m3)	金額(千円)	材積(m3)	金額(千円)	
中国	85,826	941,027	1,605	77,286	87,431	1,018,313	106%
韓国	36,047	699,542	1,034	70,521	37,081	770,063	168%
ベトナム	1,932	35,297	68	2,159	2,000	37,456	1651%
アメリカ	-	-	803	37,011	803	37,011	-
台湾	25	827	-	-	25	827	8%
合計	123,830	1,676,693	3,510	186,977	127,340	1,863,670	130%
対前年度比	124%	125%	144%	208%	125%	130%	

※出所:「財務省貿易統計」.対象HSコード[4403][4407][4409].税関区分上「米ノ津港」の実績も含む。

〈品目別の輸出状況〉

- 輸出货量の約97%が丸太であり、製材品の輸出拡大に取り組んでいる。
- 平成28年度からアメリカ向け戸建て住宅フェンス用として、スギ製材品の輸出が開始された。
- 中国では型枠用や木質パレット用の低質な材(B~C材)の需要が高い。昨今は家具用・棺桶用としての大径木の輸出も伸びている。
- 韓国では、依然として健康素材としての日本産のヒノキが人気であり、家具用、内装用として輸出されている。



台北ビルディングショー出展

③ 水産物

〈概要〉

○北米、EU、アジア(韓国、香港、台湾、シンガポール等)向けに、ブリ、マダイ、カンパチ、マグロ等の養殖魚を中心に輸出。北米、アジアへの輸出額は、日本食の普及等により概ね増加傾向であるが、EU向けは、発注減により大幅に縮小。

○市場拡大が期待されるアジア市場への販路拡大のため、香港等において商談を実施するとともに、香港、マカオ等のバイヤーを招へいた。

【平成28年度 水産物の魚種別・地域別輸出状況】

	ブリ	マダイ	カンパチ	マグロ	その他	計	対前年度比
北米	1,467,772	116,450	47,498	9,656	21,721	1,663,097	106%
アジア	207,005	450,219	6,090	20,188	42,646	726,148	105%
韓国	15,396	435,792	0	0	0	451,188	92%
香港、台湾、シンガポール等	191,609	14,427	6,090	20,188	42,646	274,960	138%
EU	34,178	2,563	2,413	219	3,049	42,422	46%
計	1,708,955	569,232	56,001	30,063	67,416	2,431,667	103%
対前年度比	99%	114%	74%	299%	158%	103%	

(単位:千円)

〈品目別の輸出状況〉

○ブリ:北米向け輸出は微増したが、EU向けの減少により輸出額は

わずかに減少。(対前年比99%)

○マダイ:北米向けの取引拡大により輸出額が増加。(同114%)

○カンパチ:北米向け取引縮小により輸出額が減少。(同74%)

○マグロ:北米、アジア向けの取引拡大により、輸出が増加(同299%)



香港における商談